

# ○国立研究開発法人森林研究・整備機構施設整備費補助金

【令和3年度予算概算決定額 216,631 (214,318) 千円】

## <対策のポイント>

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等に必要な施設の改善等を行うことにより、これらの業務の円滑な実施を図ります。

## <事業目標>

- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成。

## <事業の内容>

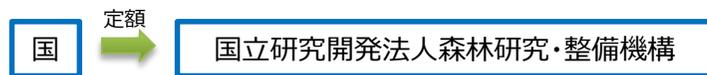
- 森林研究・整備機構の業務の適切かつ効率的な実施及び職員の安全・安心の確保のため、**業務実施上の必要性、既存施設の老朽化等を勘案し、業務運営に必要な次の施設の整備**を行います。

- ・林木育種センター原種増産施設整備
- ・九州育種場給水施設整備

※1：特定母樹とは、花粉の発生量が少なく、材質や成長等に優れたものを農林水産大臣が指定したものです。

※2：原種苗木とは、種子や穂木を採取する採種園、採穂園を造成するための苗木のことをいいます。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>



(新設設備イメージ)

- 林木育種センター原種増産施設整備

特定母樹※1等の原種苗木※2の需要増に対応するため、高速育種技術を実装した設備が必須。

原種苗木を従来よりも短期間により多く育成可能な温室及び原種苗木を長期保管し、健全な状態で適期に出荷するための大型冷蔵冷凍室等を整備。



亀裂が入り、漏れた水が石灰化した箇所

- 九州育種場給水施設整備

苗畑等への散水に使用されている給水施設(高架水槽等)は昭和30年代に建設されたもので老朽化が進行。漏水やポンプの故障が頻発し、苗畑等への散水に度々支障を来しており、このままでは原種苗木の生産・配布が停滞してしまうことから、当該施設の整備を実施。

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課 (03-6744-2312)